

## 日本ブランド発信事業 報告書

### 「日本の鉄道旅行の魅力」

2019年5月「日本ブランド発信事業」

専門家

鉄道フォトジャーナリスト 櫻井寛

#### ●事業概要

日本は鉄道が発達した国です。日本の国土は北海道、本州、四国、九州の大きな4島から成りたっていますが、4島はすべて鉄道で結ばれ、船に乗り換える必要もなく、列車に乗ったままで行き来できます。また、北海道の函館から九州の鹿児島までは新幹線（高速鉄道）で結ばれています。在来線を含めると、2万キロ以上の鉄道があり日本のほとんどの場所を鉄道で旅行することが可能です。新幹線は最高時速320kmの高速列車ですが、1964年の開業から55年を経た今日まで、新幹線の設備や運行システムが原因の死亡事故はゼロです。世界で最も安全な交通機関といえます。その一方、スロートレインも魅力です。最近では豪華寝台列車によるクルーズトレインや、食事やスイーツが特徴の観光列車が次々に登場しています。さらに、駅弁という日本独特の鉄道食文化も見逃せません。安全、高速、正確、快適、美味……。日本の鉄道旅行の魅力を広く発信することを目指します。

#### ●スケジュール

5月8日 米国テキサス州ヒューストン

総領事公邸

19:00～19:30 レセプション

19:30～20:30 講演

5月9日 米国テキサス州ヒューストン

WAC（世界問題評議会）ヒューストン事務所

10:00～11:00 講演

5月13日 米国カリフォルニア州ロサンゼルス  
ジャパン・ハウス  
17:00~18:30 講演  
18:30~19:30 レセプション

5月14日 米国カリフォルニア州ロサンゼルス  
ジャパン・ハウス  
12:40~14:00 TV番組の対談収録  
19:10~20:30 講演

5月15日 米国カリフォルニア州サンノゼ  
ジャパン・ソサエティ  
14:00~15:00 ウィークリーJインタビュー  
18:00~18:30 レセプション  
18:30~21:00 講演

5月16日 米国カリフォルニア州サクラメント  
カリフォルニア州立鉄道博物館  
13:00~14:00 講演

●5月8日 米国テキサス州ヒューストン

講演会場が総領事公邸ということもあり、34点の全紙写真は全て額装され、要所要所に展示されるなど、非常に華やかな会場となった。来場者も親日家の富裕層が中心で和やかかつ華やかな雰囲気の中、レセプション、続いて、講演会となった。講演内容は、櫻井寛撮影の日本の鉄道写真を約60点映写しつつ解説するスタイルで、写真の順番は、新幹線(8種)、四季の鉄道(春夏秋冬)、超豪華列車(ななつ星、四季島、瑞風)、リーズナブルな観光列車(嵯峨野観光鉄道)、京都鉄道博物館、アニメから生まれた電車(チャギントン電車)、最後に駅弁という内容。

講演中は、日本の四季の美しさや、ななつ星の内装に溜息がも

れ、チャギントンの可愛らしさなどに歓声があがった。

質問には、駅名の英語表記の有無、英語によるアナウンス、あと何駅で自分が降りる駅か事前に知ることができるのか？など、具体的な質問が多かった。

最後に、素晴らしいプレゼンテーションでしたと、声を掛けられ感動的だった。

#### ●5月9日 米国テキサス州ヒューストン

講演会場は WAC（世界問題評議会）ヒューストン事務所。会場が都心から郊外に位置し、アクセスも悪そうな印象だったが、多くの方が来場された。意外だったことは昨日の来場者が何名かいらっしゃり、同じ講演内容ながら、再び、絶賛されたことで、力を込めて講演させていただいた。ただし、昨日の総領事公邸よりもスペースが狭かったため、写真は約 20 点の展示となり、日本から持参した鉄道グッズも半数はお蔵入りとなった。

質問で印象的だったことは、「笑われるかもしれませんが、日本には温泉付きの列車があるって、本当ですか？」 答えは、YES! 「山形新幹線とれいゆつばさ号」が足湯付きで運行されている。

#### ●5月13日 米国カリフォルニア州ロサンゼルス

ジャパン・ハウスにて旅行業界、鉄道インフラ、メディア関係者を招いての講演会となった。ニューヨークから JR 東日本米国事務所のスタッフが 2 名駆け付け、私の講演が約 60 分間、続いて、JR スタッフの講演が約 30 分間行われた。本日の来場者は業界関係者がほとんどなので、質問の際には、「JR パスで乗車できない新幹線はのぞみ以外にもあるか？」など、より専門的な質問が多く寄せられた。「のぞみ」に対する不満は他の会場でも多く寄せられたので、早急に改善すべきことだと強く感じた。

講演終了後のレセプションでは、お寿司と講演でも紹介した「ななつ星」が走る九州で作られる焼酎も提供され好評だった。

#### ●5月14日 米国カリフォルニア州ロサンゼルス

昨日と同じジャパン・ハウスでの開催だが、本日は一般市民が対象でより多くの来場者となった。中には、5月10日～12日の米国大陸横断鉄道150周年の式典に出席した鉄道愛好家や関係者も来場し、復活した世界最大の蒸気機関車「ビッグボーイ」の話題で盛り上がった。それに関連して、日本には、どれだけ多くの蒸気機関車が保存されているのか？ 運転可能な蒸気機関車の数は？ 鉄道博物館はいくつあるのか？ また、ここでも、温泉付きの新幹線って本当？ などの質問が多数寄せられた。

●5月15日 米国カリフォルニア州サンノゼ

当日は雨でひどい渋滞があったにも拘わらず、会場一杯の117名の方にご参加いただきジャパン・ソサエティとしても最高の出席率90%を記録したそう。講演終了後のアンケートの中には、子供に「明日、日本に連れて行って、電車に乗りたい。」と頼まれたというコメントもあり、講演を通じて日本の列車の魅力が伝わった手応えを一番感じたサンノゼ会場となった。

駅弁の写真の中には、寿司弁当もあったが、サンノゼ会場には寿司職人が握り寿司を提供してくれ、寿司の解説にも最適で、多くの皆様が寿司を満喫されていた。日本の鉄道文化は、日本食文化とも密接な関係があるのは事実である。

●5月15日 米国カリフォルニア州サクラメント

最後の会場はカリフォルニア州立鉄道博物館であったが、雨のためか客足も少なく、昨日のサンノゼとは対照的な結果となってしまった。ただし、最後の会場なので日本から持参した鉄道グッズは、即興の鉄道クイズの賞品として、会場の皆様にプレゼントさせていただいた。クイズの内容は、「JR時刻表のページ数は？」答え「1000ページ」。「東京駅の祭で1日に売れる駅弁の数は？」答え「1万5000個」。駅弁の価格が10～13ドルがポピュラーな点でも日本の食物価の安さに感心していた。最後に、美味しそうな駅弁の写真に、「お腹が空きました！」という声が会場のあちこちから漏れていた。

●まとめ

6回の講演を終え、日本の鉄道旅行の魅力はお伝えできたと思います。帰国後も、「素晴らしいプレゼンテーションでした」「日本の鉄道に乗りに行きます」などのメールをいただきました。その一方で、「日本の鉄道員は英語が話せますか？」「JRパスで『のぞみ』に乗れないのは困ります」「東京の地下鉄で迷いました。分かりにくいです」など、深刻な質問が多かったことも気になりました。訪日外国人が、理解ならびに利用しやすく、優しい鉄道を目指すことも大切なことだと思いました。